

平成 23 年度第 3 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録 (案)

日 時：平成 23 年 3 月 16 日 (金) 14 時 00 分～15 時 30 分

場 所：京都大学防災研究所本館 S 棟 5 階 防災研究所大会議室 (S-519D)

出席者 (敬称略)：森田、丸井、寶、緑川、植松 (代理：大野)、桑野、中野正樹、廣岡、西上、飯高、平石、野上、小林、牛山、 オブザーバー：中島、 事務局：小林、織田秀夫、織田真澄

配布資料：

- 1 平成 23 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録 (案)
- 2 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿・出席者名簿
- 3 地区部会活動報告及び活動計画
資料 3-1 北海道地区、3-2 東北地区、3-3 関東地区、
3-4 中部地区、3-5 関西地区、3-6 西部地区
- 4 突発災害調査について
- 5 自然災害データベースについて
- 6 平成 23 年度の決算について
- 7 平成 24 年度の予定について
- 8 京都大学防災研究所共同研究 (重点推進型共同研究)
- 9 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿 (任期入り)

- ・開会に先立ち、京都大学防災研究所長 中島正愛教授より挨拶があった。
- ・前回議事録の確認 (資料 1) および出席者 (代理) の確認 (資料 2) が行われた。

議 事：

1. 平成 23 年度自然災害研究協議会活動報告について

(1)地区部会報告 (資料 3-1～3-6)

- ・各地区委員より配布資料にもとづいて説明がなされた。

(2)突発災害調査について (資料 4)

- ・風水害部会における突発災害調査について、西上委員から配布資料にもとづいて説明された。平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨災害および平成 23 年 9 月台風 12 号による紀伊半島豪雨災害の調査が行われた。台風 12 号による紀伊半島豪雨災害について科学研究費補助金 (特別研究促進費) の申請が行われたが、採択には至らなかった。
- ・地震火山部会からは、平成 23 年度科学研究費補助金 (特別研究促進費) による調査として、2011 年霧島火山 (新燃岳) 噴火に関する総合調査、および 2011 年東北地方太平洋沖地震に関する総合調査が行われたことが、飯高委員から配布資料にもとづいて説明された。

(3)SAIGAI データベース担当報告 (資料 5)

- ・自然災害データベースの今年度科学研究費補助金の執行状況、来年度科学研究費補助金の申請状況、運営委員、データ入力状況等について、西上委員から配布資料にもとづいて説明された。

(4)人材データベース担当報告

- ・ 6 地区で約 800 名の名簿リストに対して、人材データベースへの登録確認を行うメール配信の準備が整い、これから 5 月頃までを試用期間としてデータベースの運用を開始することが、實委員より説明された。これに関連して、中部地区においても人材データベースの充実をはかる予定であることが、中野正樹委員より報告された。
2. 平成 23 年度の決算について（資料 6）
 - ・ 平成 24 年 3 月 12 日現在の予算執行状況について、西上委員から配布資料にもとづいて説明がなされた。最終の決算報告は、来年度第 1 回協議会において行われる予定である。
 3. 平成 24 年度の予定について（資料 7）
 - ・ 平成 24 年度の自然災害研究協議会の開催予定について、平石委員より配布資料にもとづいて説明がなされ、決定された。第 1 回協議会：平成 24 年 4 月 25 日、第 2 回協議会：平成 24 年 9 月 11 日、第 3 回協議会：平成 25 年 3 月 15 日開催の予定。
 - ・ 第 49 回自然災害科学総合シンポジウムは、平成 24 年 9 月 11 日、キャンパスプラザ京都において開催予定。
 - ・ 突発災害調査を迅速に実施するために、出張手続きに関する事務書類の作成依頼を来年度当初に開始する。
 4. 京都大学防災研究所共同研究（重点推進型共同研究）について（資料 8）
 - ・ 平成 24・25 年度の重点推進型共同研究として「自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の活用に関する研究」および「突発災害時における初動調査体制の拡充および継続的調査研究の支援」の 2 課題が採択されていることが、平石委員より配布資料にもとづいて説明された。
 5. 平成 24 年度自然災害研究協議会委員の交代について（資料 9）
 - ・ 自然災害研究協議会規程（任期满了）により、1 号委員：丸井英明教授、2 号委員：桑野二郎教授、3 号委員：西上欽也教授、5 号委員：真木雅之・研究領域長が来年度より交代となることを確認した。また、東北地区部会長の交代に伴い、2 号委員：植松 康教授も交代となることを確認した。
 - ・ 来年度の総務担当：平石哲也教授、企画調査担当：横松宗太准教授、データベース担当：鈴木進吾助教となる予定である。
 6. その他
 - ・ 牛山委員より、日本自然災害学会における活動状況をツイッターにより情報発信する予定であることが紹介され、また、この情報を自然災害研究協議会とも共有することについて提案された。
 - ・ 「河川災害に関するシンポジウム」（土木学会水工学委員会との共催）予稿集を後日、全委員に配布する。また、自然災害研究協議会パンフレットを各地区担当委員に 100 部ずつ配布する。

冊子配布等：

京都大学防災研究所自然災害研究協議会パンフレット

DPRI Newsletter No.62、No.63

（文責：西上）